

「強迫性と衝動性」、「随意と不随意」をキーワードに、発達の観点も加味した研究を継続的に行っている

◆研究班活動

- 厚労科研「トゥレット症候群の治療や支援の実態の把握と普及啓発に関する研究」(研究代表者): 医療機関、教育機関、相談機関での大規模実態調査
- 精神・神経疾患研究委託費「児童思春期強迫性障害(OCD)診断・治療ガイドラインの検証及び拡充に関する研究」(主任研究者): 多施設共同で児童思春期OCDの薬物療法の自主臨床試験の実施
⇒6歳以上18歳未満のOCD患者にSSRI 2種(フルボキサミン、パロキセチン)のうちいずれかを12週間にわたって投与し、2週間ごとに症状評価等を行う。薬物の治療反応性だけでなく、当事者(患児)・ご家族の生活の質の改善、治療反応性に影響を及ぼす因子についての検討も重ねて行う
(該当する方がおられたら、島田隆史または金生由紀子までご連絡下さい)
- 厚労科研「難治性不随意運動症状を伴うトゥレット症候群に対する脳深部刺激の有用性に関する多施設共同研究」(分担研究者): 脳外科との連携が開始

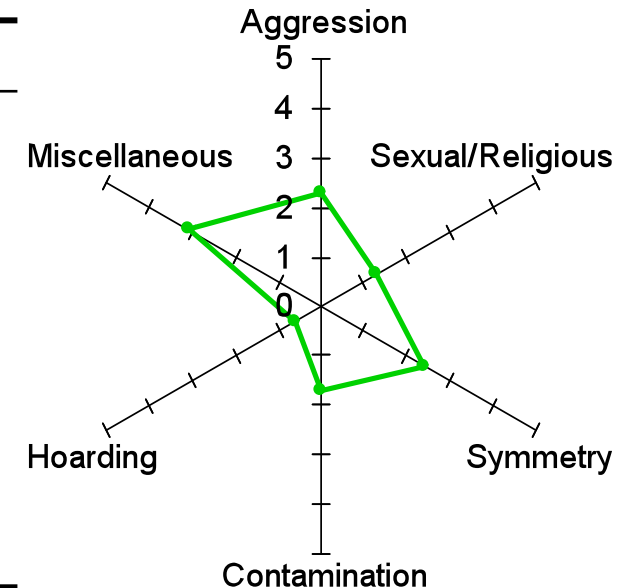
◆国際活動

- Gilles de la Tourette Syndrome (GTS) Genome-Wide Association Replication Study への参加: Tourette Syndrome Association International Consortium on Genetics (TSAICG)の活動を踏まえて国際共同研究で1500名程度のDNA及びphenotypeのデータを収集して解析する
- Collaboratory Asian Research on TS (CARTS): 日本、中国、韓国、台湾のトゥレット症候群研究者のネットワーク構築の開始。2010年6月2～6日に北京で行われるthe 19th World Congress of the International association for child & adolescent psychiatry & allied professions(IACAPAP)及びthe 6th ASCAPAPの折に国際シンポジウムを開催予定。
- Dimensional Y-BOCSを中心とする国際共同研究: Dr. Rosarioを今年の11月に招聘し、DY-BOCS を用いたphenotype研究及びそれを軸にした多様な生物学的研究について検討を深めると同時に、トゥレット症候群やOCDを主なテーマに、11月8日には東京大学で専門家を対象としたワークショップを、11月15日には京都大学で国際シンポジウムを開催予定。

強迫症状のディメンジョン別評価: 重症度の記述及び チック(YGTSS)、衝動性(IRS)、社会的機能(GAF)との関連

ディメンジョン別アプローチが、併発症のパターン、遺伝研究所見、脳画像所見、治療反応性などとの関連で有意義とされ、Dimensional Y-BOCS(DY-BOCS)が開発された。

Scale [maximum]	Mean (SD)
DY-BOCS dimensional severity	
Aggression [15]	2.3 (3.2)
Sexual/religious [15]	1.3 (2.7)
Symmetry [15]	2.4 (3.2)
Contamination [15]	1.7 (3.5)
Hoarding [15]	0.6 (1.7)
Miscellaneous [15]	3.1 (3.7)



OC symptom dimension	YGTSS global severity score	IRS score	GAF score
Aggression	0.222	0.014	-0.295 †
Sexual/religious	0.328 *	-0.063	-0.221
Symmetry	0.183	0.027	-0.182
Contamination	0.260	0.345 *	-0.232
Hoarding	0.164	0.339 *	-0.138
Miscellaneous	-0.033	0.135	-0.132

† p<0.1, * p<0.05

トゥレット症候群におけるチック、強迫症状、衝動性、社会的機能の関連

対象: トウレット症候群患者40名 (男性29, 女性11; 平均年齢18.8歳)

評価尺度: Yale Global Tic Severity Scale (YGTSS) <チック>, Dimensional Y-BOCS (DY-BOCS) <強迫症状: ディメンジョン別>, Impulsivity Rating Scale (IRS) <衝動性>, GAF <社会的機能>

YGTSS Total tics	0.918**	0.417**	0.366*	0.301†	-0.396*
YGTSS Global severity		0.247	0.195	0.211	-0.408**
DY-BOCS Total OC symptom			0.985**	0.351*	-0.381*
DY-BOCS Total global				0.410**	-0.392*
IRS					-0.318*
GAF					

Pearson's correlation coefficients

† p<0.1, * p<0.05, ** p<0.01